

杉並区長

田中 良の

4300 日

確かな実績
未来への責任



区政の使命は、 区民福祉の向上

平成22年7月の区長就任以来、12年が経ちました。

この間、さまざまな課題に挑戦し、皆様と共に手を携えて解決してまいりました。

皆様のご理解とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

今後とも「区政の使命は、区民福祉の向上」という言葉を胸に刻み、

全力で区政運営に取り組んでまいる決意です。

引き続き、皆様のご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

杉並区長 田中 良

H24

- 特養ホーム10年で1,000床整備計画スタート
- 次世代育成基金創設
- 産業振興センター開設
- 東電グラウンド取得
- 区制施行80周年記念式典・まつり開催
- 杉並区就労支援センター開設
- 中学生小笠原自然体験交流開始
- 待機児童対策緊急推進プラン策定
(H24～26年度)
- 全区立小中学校耐震化完了
- 忍野村、南伊豆町と
「災害時相互援助協定」締結

H23

- 自治体スクラム支援会議結成
(3.11南相馬市支援)
- 安心おたっしゅ訪問開始
- 全区立小中学校普通教室にエアコン設置完了
- 台湾との中学生野球交流事業開始
- 杉並区減税基金条例廃止
- 杉並区基本構想(10年ビジョン)策定
- 青梅市、武蔵野市、北塩原村と
「災害時相互援助協定」締結
- 区民一人一日当たりごみ量23区最少

H22

区長就任

- 多選自粛条例廃止

H30

- 4月1日保育待機児童ゼロを達成
- 子ども・子育てプラザ天沼開設
- 区長再選 3期目
- 子ども・子育てプラザ成田西開設
- 永福体育館移転開設・ビーチバレーコート開設
- 荻窪駅周辺都市総合交通戦略策定
- (仮称)荻外荘公園整備基本計画策定
- 第二次救護所(各地域区民センター)
へ自家発電設備の設置を開始

H29

- 下高井戸おおぞら公園開設
(旧東電グラウンド)
- 第2回東京高円寺阿波おどり台湾
公演開催
- 阿佐谷北東地区まちづくり整備方針
策定
- 区独自の地震被害シミュレーション
実施
- 全国初区域外特養ホーム
「エクレシア南伊豆」開設
- ウェルファーム杉並複合施設棟開設

H28

- 成田西ふれあい農業公園開設
- すぎなみ保育緊急事態宣言
- 妙正寺体育館リニューアルオープン
- 韓国ソウル特別市瑞草区と
「友好都市協定締結25周年宣言合意
書」調印
- 子ども・子育てプラザ和泉開設
- 改正狭あい道路拡幅整備条例施行

H25

- 小笠原村と中学生の交流事業を推進するための共同宣言に調印
- 国との財産交換発表
(あんさんぶる荻窪⇄荻窪税務署等)
- 台湾政府、台北市、中国青年救国団と「青少年交流推進事業宣言」調印
- (仮称)荻外荘公園用地取得
- 施設再編整備計画策定

H26

- 大宮前体育館移転開設(荻窪小跡地)
- 区長再選 2期目
- 狭あい道路拡幅整備に関する審議会設置
- 区立小学校理科教室にエアコン設置着手(全校設置完了)
- 全国初 重症心身障害児保育園「ヘレン」開園
- 杉並ナンバー交付開始
(車のナンバープレート)
- 公益財団法人陽明文庫との「資料調査や展示に関する覚書」締結

H27

- 杉並和泉学園開設
(区内初の施設一体型小中一貫教育校)
- 国立台湾戯曲学院と「文化・芸術の相互交流推進宣言」調印
- 豪ウィロビー市と「友好都市協定締結25周年宣言書」調印
- 第1回東京高円寺阿波おどり台湾公演開催
- 第1回地方創生・交流自治体連携フォーラム開催
- 重症心身障害児通所施設「わかば」開設
- 杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 震災救護所(34か所)において、太陽光発電機器等の設置を開始(平成29年度完了)

H31 R1

- 4月1日保育待機児童ゼロを達成(2年連続)
- 東京オリンピックの開催に向け、イタリア、パキスタン、ウズベキスタン3か国の事前キャンプ受入協定の締結
- 第3回東京高円寺阿波おどり台湾公演開催
- 区立小中学校体育館へエアコンの設置開始(令和3年度完了)
- 「杉並区新型コロナウイルス感染症危機管理対策本部」設置
- 子育て寄りそい訪問(ハロー！なみすけ訪問)開始
- 水害ハザードマップを改定し区内全戸に配布
- 就学前教育支援センター開設

R2

- 4月1日保育待機児童ゼロを達成(3年連続)
- 区内基幹4病院に発熱外来設置支援、経営支援包括補助の実施
- 区内医療機関等におけるPCR検査体制の拡充
- 杉並区基本構想審議会を設置し新たな基本構想の審議を開始
- 中央図書館リニューアルオープン
- 勤労福祉会館・西荻地域区民センターリニューアルオープン
- 新たな多世代型施設「コミュニティふらっと」開設
- 児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備

R3

- 4月1日保育待機児童ゼロを達成(4年連続)
- 農福連携農園「すぎのこ農園」全面開園
- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種(1・2回目)開始
- 東京2020オリンピック競技大会事前キャンプ受け入れ
- 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援ステーション開設
- 新たな杉並区基本構想の策定
- 特別養護老人ホーム「10年1,000床整備計画」達成
- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種(3回目)開始

区長就任12年間の実績

区民とともに創る みどり豊かな

10年先の「わがまちすぎなみ」がより

基本構想を貫く3つの基本的理念

●認め合い 支え合う

様々な価値観を互いに認め合い、支え-支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として差別されず、取り残されない社会にしていきます。「人生100年時代」を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。

●安全・安心のまち つながりで築く

首都直下地震や、気候変動に伴う大規模な自然災害に対応し、誰もが安全・安心に暮らし続けることができる環境を築くために、まちのつながり、人のつながりを大切にします。区民、団体、企業、行政を含むこのまちに関わるすべてが主体となり、力を合わせて、まちの将来を築いていきます。

- 国や都に先がけ、区内基幹4病院に対して経営支援を実施したことにより、新型コロナウイルス感染症患者の病床確保が実現
- 最大123病床を確保できたことにより、杉並保健所による独自の入院調整が可能となり、多くの区民の患者が入院
- 約85%の区民がワクチン2回目接種、約69%が3回目接種を終了
(令和4年5月6日現在)

区民への新型コロナウイルスワクチン接種

- ◆区による集団接種会場の開設、区内診療所での接種実施
- ◆接種予約のためのコールセンターの開設・増強 ◆集団接種会場の開設拡大、障害者施設等への巡回接種実施

区内基幹病院経営支援のための包括補助の実施

- ◆区内の基幹4病院に対し、減収となる令和2年度(4月～6月分)の収入額と過去3年の平時における同じ月の収入の平均額との差額相当分を補助

医師確保支援事業

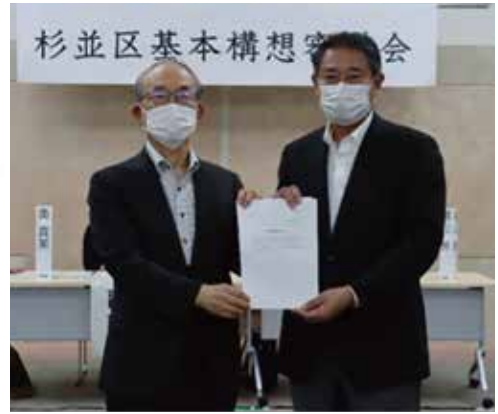
- ◆感染が疑われる患者を診察するための医師確保に向け、「発熱外来」で従事する医師が勤務している診療所に対し、年末年始の休日夜間診療と同額の補助を支給(令和2年度4月～6月)

住まいのみやこ

よい姿であり続けるために

●次世代を育み 引き継ぐ

杉並の次代を担う子どもを地域社会全体で育んでいきます。暮らしの基盤である、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、地球規模の視野に立って一人ひとりが行動します。わがまちの歴史を知り、まちに根付く文化や遺産、自治の歴史を継承し、このまちに誇りを感じながら暮らす人々を増やします。



青山伊基本構想審議会会長より答申を受け取る
(R3年9月)



下高井戸おおぞら公園



桃井原っぱ公園集団接種会場

区内事業者に対する感染予防対策物品配布

- ◆CO2モニター
- ◆アルコールスプレー

自宅療養者支援のための対策

- ◆自宅療養者支援ステーション設置
- ◆オンライン診療、訪問看護の実施
- ◆酸素濃縮装置の確保
- ◆自宅療養のための食糧・パルスオキシメーター配布

今後の感染症対策のあり方を考えるため、令和4年5月12日(木)、杉並公会堂にて区民のみなさんと共に考えるシンポジウム「コロナ禍における杉並区の医療現場とこれから」を開催。

災害による被害を最小限に

発災後3日間の自給自足を目指して

耐震改修の促進

木造密集地域等を中心に、区内建築物の耐震化促進を図りました。

- 耐震化率77% (H22年度) ⇒ 92.0% (R2年度)
- 戸建て住宅等に対する耐震診断支援・耐震改修助成件数286件 (R3年度)

危険ブロック塀等の改善

幅員4m以上の通学路や避難路に面する危険ブロック塀等の解消に努めました。

- ブロック塀等改修工事費助成件数31件 (R3年度)

震災救援所周辺等の不燃化促進

各震災救援所周辺及び隣接する緊急道路障害物除去路線沿道建築物の、不燃化建替えを推進しました。

- 震災救援所周辺等の建替え助成件数85件 (R3年度)

木造住宅密集地域の不燃化を推進

東京都の不燃化特区制度等を活用し、建築物の不燃化建替え等を促進しました。

- 木造住宅密集地域の不燃領域率(杉並第六小学校周辺地区)
51.6% (H22年度) ⇒ 62.8% (R2年度)

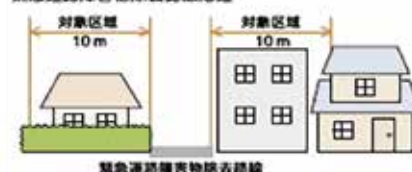
※不燃領域率=エリアに占める公共空地と耐火建築物敷地面積の割合

3日分の食糧の備蓄の推進

大震災発生後は、建物倒壊や交通規制などによる道路閉塞等により、一時的に区外からの救援や物流が滞ることが想定されることから、発災後3日間を乗り切れるよう食糧の区内備蓄に取り組んでいます。



緊急道路障害物除去路線沿道



震災救援所周辺





水害ハザードマップの作成

水害に対するリスクと避難に関する情報及び日頃の備えとして、東京都が公表した浸水予想区域図を用いて、区内の水害ハザードマップを作成しました。杉並区公式HPでも公開しています。

災害時医療体制の充実

災害発生時に開設される緊急医療救護所が円滑に運営されるよう医薬品の整備を行い、医療機関との連携の充実に努めました。

- 緊急医療救護所の整備
9所(H25年度)⇒11所(R3年度)
- 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施
累計16回開催(H26年度～R3年度)



医療救護訓練の様子

犯罪被害の防止

犯罪の未然防止に向けて、区直営の防犯カメラの増設や、町会等への防犯カメラ設置助成等へ取り組んだほか、特殊詐欺対策のため、希望する高齢者世帯に自動通話録音機を配布しました。

- 街角防犯カメラの増設・設置促進
2,138台(H23年度) ⇒ 3,668台(R3年度)
- 自動通話録音機の配布
累計5,476台(R3年度)
※R4年度はさらに1,000台配布予定



街角防犯カメラと録音機器

災害時拠点施設の機能強化

災害時の拠点施設となる西荻・阿佐谷地域区民センターでは、施設の改修に合わせ、災害時の第二次救護所や帰宅困難者の一時滞在施設等としての機能強化を図るため、非常用の発電機や照明設備、マンホールトイレ等を設置しました。今後、セシオン杉並でも、改修に合わせ取り組んでいきます。



杉並区総合震災訓練

地域の特色を活かした取組

次世代につなげるまちづくり

狭あい道路の拡幅整備の推進

狭あい道路拡幅整備条例を改正し、後退用地に支障物件を設置することを禁止するとともに、違反者に対する代執行を可能とするなど、全国初の取組を進めました。

● 狭あい道路拡幅10年間の実績

	H23年度	R2年度
整備済延長	172,658m	242,931m
拡幅整備率	28.1%	39.5%



区内の狭あい道路

阿佐谷北東地区まちづくりの推進

河北総合病院、杉並第一小学校の移転・改築をきっかけに、教育環境の向上を最優先に地域の防災力の向上に向けたまちづくり計画、地区計画を策定しました。

杉一小跡地については、事業実施まで時間的ゆとりがあることから、社会経済状況の変化を見極め、区民の皆様の声を聞きながら検討してまいります。



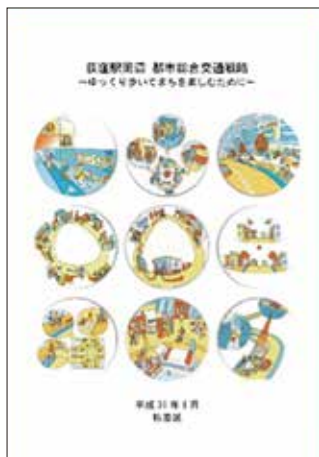
阿佐谷北東地区まちづくり(地区計画)

荻窪駅周辺都市再生事業の推進

JR荻窪駅周辺の南北分断や回遊性の不足などの課題に対応するため、策定したまちづくり方針や都市総合交通戦略に基づき、総合的・一体的なまちづくりを推進します。



荻窪駅周辺まちづくり基本方針



荻窪駅周辺 都市総合交通戦略



荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案

空家の適正管理に向けて

空家等対策協議会の運営により関係機関と連携を図り、専門家による総合相談を実施するほか、空家等除却工事費の助成を行いました。

- 特定空家除却工事費助成3件
- 特定空家解体6件
- 総合相談者数98名(いずれも累計)

※特定空家=周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等のこと。



空家代執行(解体)

地域特性を活かした個性あふれる商店街へ

商店街の立地環境や地域が持つ歴史等の特性を活かした事業や、商店街が実施するさまざまな取組を支援しました。

- 地域特性にあった商店街支援事業・チャレンジ商店街サポート事業の実施
- 商店街若手支援事業の実施
- 商店街装飾灯のLED化

農福連携農園「すぎのこ農園」の開設

障害者・高齢者等のいきがい創出や若者の就労を支援するため、井草3丁目に農福連携農園「すぎのこ農園」を開園しました。農園内には、かつての「杉並の農の風景」を想起させる江戸時代に建築された寄贈家屋の部材を活用した管理棟を建設しました。



すぎのこ農園管理棟



すぎのこ農園(上:土間、下:客間)

環境に配慮した意識の向上

豊かな自然環境の確保

公園の整備とみどりの保全

区内の生産緑地等を買取り、公園として整備する等、これまで300か所を超える公園を整備し、みどりの保全や創出を行いました。

- 日産自動車荻窪工場跡地を桃井原っぱ公園として整備(H23.4)
- 山葉名(やんばな)いこいの森の開園(H25.10)
- 東京電力総合グラウンドを公園用地として取得し、下高井戸おおぞら公園として一部開園(H29.3)
- 柏の宮公園を三井の森公園とのみどりの連続性に配慮しながら拡張(R2.4)
- 生産緑地(5か所)を公園として整備
 - ・成田西ふれあい農業公園(H28.4) ・下高井戸なごみ公園(H31.3)
 - ・遊び場116番(R元.12) ・清水いづみ公園(R3.4) ・松庵梅林公園(R4.4)
- 立体都市公園制度を活用した公園整備
 - ・荻窪だんだん公園(R2.12) ・阿佐谷けやき公園(R4.3)

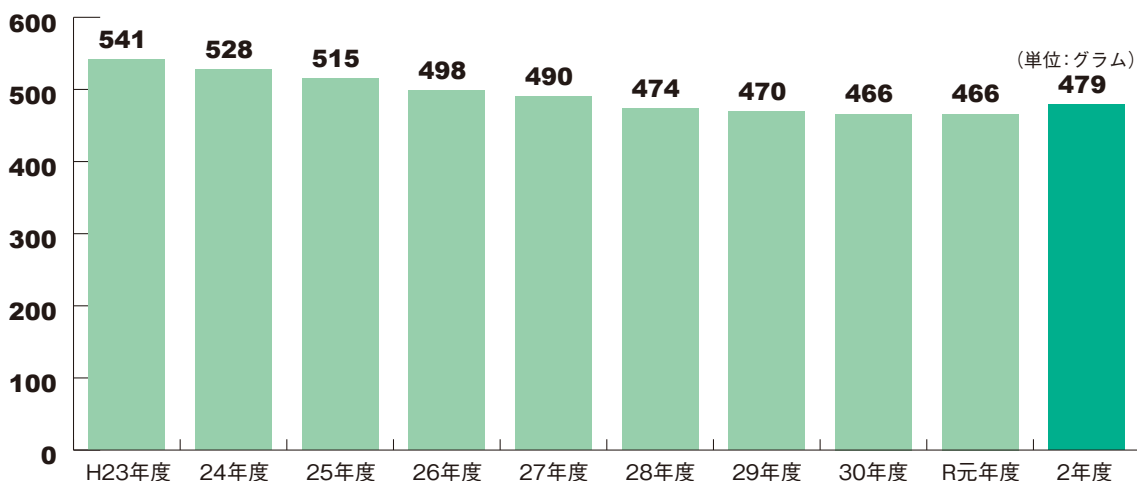
区民一人1日当たりのごみ排出量、平成23年度から8年連続23区最少

ふれあい指導を通じたごみの適正排出の徹底、粗大・不燃ごみに含まれる金属分の資源化、「フードドライブ」の常設窓口の設置・食べ残しゼロ応援店の拡充協力による食品ロスの削減等に区民・事業者・関係団体及び区が一体となって取り組んだ結果、区民一人1日当たりのごみ排出量が、平成23年度から8年連続23区で最少となりました。



ごみ排出調査・指導

【1人一日あたりのごみ排出量】





下高井戸おおぞら公園

- 下井草どかん公園開園 (R3.3)
- 富士見丘北公園の拡張整備 (R6開園予定)
- 馬橋公園の拡張整備 (R6開園予定)
- 杉並第八小学校跡地に公園を整備 (R7開園予定)



桃井原っぱ公園

杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進

災害など非常時にも電気が使える太陽光発電システムや電気自動車用充電設備、また、省エネ機器である家庭用燃料電池(エネファーム)等の設置に助成を行うことで、エネルギーの創出や省エネルギーを推進しました。

- 太陽エネルギー利用機器導入助成 811件⇒2,864件
 - 省エネルギー機器導入助成 403件⇒2,595件
- ※数値はいずれもH22年度とR2年度との比



発電用モニター



太陽光発電モジュール

すべての区民に寄り添う

いつまでも住み続けられるまちのために

特別養護老人ホーム等の整備

緊急性の高い入所希望者が早期に入所できるよう、特別養護老人ホームのベッド数を平成24年度からの10年間で1,000床確保することを目標に施設整備を進め、達成いたしました。

これにより、緊急性の高い入所希望者は、当面の間解消の見込みとなりました。

●特別養護老人ホームの定員

1,307人(H24年度)

⇒2,400人(R3年度)

※H31～R3年度の特養定員は実行計画上の数値

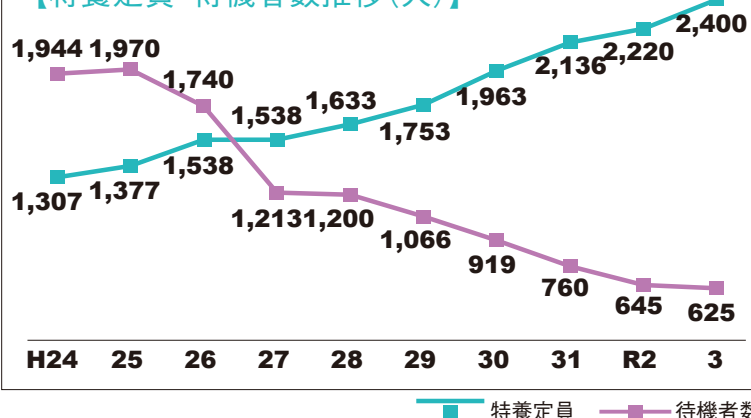
※R3年度の待機者数はR4年1月末時点の数値

※R3年度の待機者625人には、早期に入所できる緊急性の高い入所希望者を含む



特別養護老人ホーム「フェニックス杉並」

【特養定員・待機者数推移(人)】



■ 特養定員 ■ 待機者数

全国初区域外特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」開設

静岡県南伊豆町と自治体間交流を行ってきた実績を生かし、同町に全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホームを開設しました。本区にとっては、入所待機者の解消、高齢者の居住の選択肢拡大などのメリットが生まれ、南伊豆町には地元の雇用増や、入所者家族の観光による経済効果が期待できます。



特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」

医療と福祉の連携推進

ひとつの相談機関だけでは対応が難しい複合的な生活課題を抱えた世帯等に対する支援を充実させるため、各関係機関が一体となって支援することができるセンターを開設し、利便性の向上を図りました。

- 在宅医療・生活支援センター
(ウエルファーム杉並複合施設棟内)の開設(H30年度)



ウエルファーム杉並

災害時要配慮者支援の推進

災害時に支援が必要となる高齢者や障害者等の災害時要配慮者に対する支援を充実させるため、福祉救済所の追加指定と民間福祉事業者との連携を強化しました。

- 福祉救済所指定数
10所(H22年度) ⇒ 35所(R3年度)



在宅医療相談調整窓口

障害者グループホームの整備

障害者が自らの意思で選択・決定しながら、住み慣れた地域で生活できるようグループホームの整備を推進しました。

- 知的障害者グループホーム整備数 24所 ⇒ 55所
 - 精神障害者グループホーム整備数 6所 ⇒ 10所
 - 身体障害者グループホーム整備数 2所 ⇒ 3所
- ※数値はいずれもH22年度とR3年度との比較



福祉救済所開設訓練

重度障害者通所施設の整備

障害者が安心して充実した日々を過ごせるよう、障害者の生活実態を踏まえて施設整備を行いました。

- 重度身体障害者通所施設整備数 3所 ⇒ 5所
- 重度知的障害者通所施設整備数 2所 ⇒ 5所

※数値はいずれもH22年度とR3年度との比較

子どもファーストを貫く

子どもたちの未来の創造と守るべき

保育施設の整備（5年連続待機児童ゼロを達成）

希望するすべての子どもが認可保育所等へ入所できるよう、歳児別・地域別の保育需要を見極め、認可保育所を整備します。

- 認可保育所732名の定員を確保(R3年度)
- 待機児 285人(H25年度) ⇒ 0人(H30年度)
- 認可保育所 58ヶ所(H22年度) ⇒ 190ヶ所(R3年度)

児童虐待対策の推進

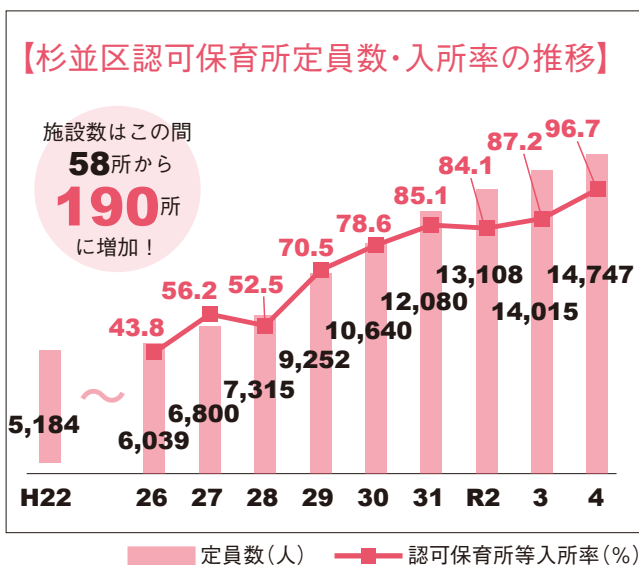
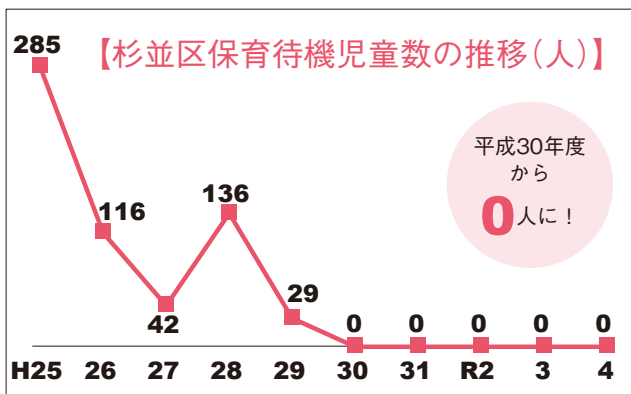
身近な地域での児童虐待対策を行うため、地域型子ども家庭支援センターの整備を進めるとともに、児童虐待対策の更なる強化を図るため、令和8年度の区立児童相談所開設に向けて、人材の育成・確保等の準備を着実に進めています。

- 地域型子ども家庭支援センター開設
 - ・高円寺(H31年度)
 - ・荻窪(R4年度)
 - ・高井戸(R5年度予定)

子ども・子育てプラザの整備

乳幼児親子の居場所事業や相談業務、一時預かり事業等、地域における子育て支援を総合的・一体的に行う「子ども・子育てプラザ」を整備し、子どもたちが健やかに成長できる環境を整備しました。

- 子ども・子育てプラザ整備数 5所(R3年度末現在)
- R元年4月からR4年2月までの利用者数 延べ470,117人



子ども・子育てプラザ天沼

文化の継承

学童クラブの整備

増加する学童クラブ入所希望の需要に対応するため、小学校内への移転整備や第二学童クラブの設置等、働きながら安心して子育てができる環境の充実に取り組みました。

- 学童クラブ受入定員数
3,890人(H22年度) ⇒ 5,557人(R3年度)

児童・生徒1人1台パソコンを整備

区立学校の全児童・生徒に1人1台のタブレットPCを配備し個別学習や、臨時休校に対応したオンライン授業環境の充実等に取り組みました。

区立小中学校全校へのエアコン設置

教育環境の向上に向け、教室、体育館等にエアコンを設置しました。

- 普通教室(H23年度完了) ●特別教室(R2年度完了)
- 体育館(R3年度完了)

文化・芸術活動の支援

コロナ禍においても、区民の皆さんが安心して文化・芸術を楽しむことができるよう、他の自治体に先駆け、区内の文化・芸術の場と活動を一体的に支援する「すぎなみアート応援事業」を令和2年度に創設し、これまで、延べ800件を超える支援を行いました。

(仮称)荻外荘公園の整備

「荻外荘」の復原・整備最大の目玉は、移築部分の部材を杉並区荻窪に運搬し、当初建っていた位置に再移築したうえで、「古色塗り」等により近衛文麿居住当時の雰囲気を再現するという点です。

令和6年度の公開に向け「荻外荘」を復原・整備し、適切に保存・活用することによりその価値を区内外に広く伝え、次世代に確実に継承していきます。



1人1台パソコンを活用した授業



体育館に設置されたエアコン



和文化アート展



荻外荘



杉並区は、昭和7年に杉並町、和田堀町、井荻町、高井戸町が合併して誕生し、本年10月に区制施行90周年の節目を迎えます。
区では、この機会を区民の皆様と区が一体となって祝うとともに、その先の100周年を見据え、区や区民に大きな影響を与えた5つの出来事を「すぎなみ5ストーリーズ」と位置づけ、展示、演劇や浪曲による公演のほか、動画等さまざまなツールを用いて次世代へ継承します。



杉並区長

田中良

田中 良プロフィール

杉並の勇気

昭和35(1960)年杉並区生まれ

杉並ひまわり幼稚園、杉並区立桃井第五小学校

獨協中学・高等学校、明治大学政治経済学部卒業

(株)テレビ東京入社

平成2年 衆議院選挙出馬するも惜敗

平成3年 杉並区議会議員選挙に最年少・最高得票当選

平成5年 東京都議会議員選挙当選 以後連続5期当選

平成21年 東京都議会議長就任(48歳 就任時歴代最年少)

平成22年 杉並区長に当選

平成26年 再選(2期目)

平成30年 再選(3期目)



杉並を良くする会の目的

- 田中良の活動を真剣に応援する。
- 田中良の活動をより多くの杉並区民にアピールする。
- 杉並区の未来のため、地域の発展に貢献する。

会費

- 一口年間 1万円

※ 大変恐縮ですが、個人名義でのご入会のみとさせていただきます。
(寄付金控除の対象にはなりません)

会費のお振込

- みずほ銀行 荻窪支店
普通 2833306
杉並を良くする会

- 郵便振替口座
00190-9-358587
杉並を良くする会

【編集・発行／杉並を良くする会】

事務所：西荻窪駅南口前 こけし屋本館

〒167-0053 杉並区西荻南3-14-6

TEL: 03-5941-7652 FAX: 03-5941-7653

ホームページ：<http://tanakaryo.com>

ご意見ご要望はこちらから

